



第2回統一テストが終わりました。



次の目標を定めて、学習を継続させていこう！

先週までに第2回統一テストの答案用紙がほぼ返されたと思います。結果から、今までの進路希望の変更を考える人もいることと思います。これからは希望とともに「現実」を受け止めていく必要があります。入試は一発勝負です。「なんとかなるだろう…」という軽い判断で決められるものではありません。思うように結果が伸びなかった人は、現実に目をやり、担任の先生との話し合いを進めていきましょう。

さて、第2回統一テストが終わり、「ホッ」としている人はいませんか。まだまだこれは通過点に過ぎません。しっかりと次の目標を定め、学習を積み上げていきましょう。次の目標は、11月30日(火)の第3回統一テストです。第2回統一テストの反省と課題を活かして、次のテストへ向けて準備をしていきましょう。これからの学習はイコール受験勉強となるものです。「今やることは今やる。」が合い言葉。家庭学習平日4時間以上の取り組みも継続です。学べ Room 南や家庭学習の取り組みの改善を試みなければ、点数アップは望めません。

統一テストの結果が返されました！



進路の再考が必要な人がいるのでは？

第2回統一テストの結果は、今週中に配付する予定です。予想以上に厳しい結果を返される人がいるかもしれません。かなりの人が受験校を考え直す必要があるのではないかと思います。「今から頑張るから・・・」という気持ちは大切ですが、これから本番までの2~3ヶ月余は、県内の全ての中学3年生約1万人や河北郡市内の全ての中学3年生約千人が「今まで以上に頑張る！」「最後の頑張り」と考え、必死になって学習する時期になります。並大抵の努力では、まわりを上回る伸びを実現することはできません。あと16日間で第3回統一テストです。授業への姿勢や家庭学習に、具体的に取り組んでいきましょう。次の第3回統一テストでの結果で私立受験校を決めます。絶対に投げやりにならないように！！最後の最後まで粘り強く頑張りましょう。

入試問題集を学校でもやろう！



わずかな時間を利用する学習を積み上げていこう！

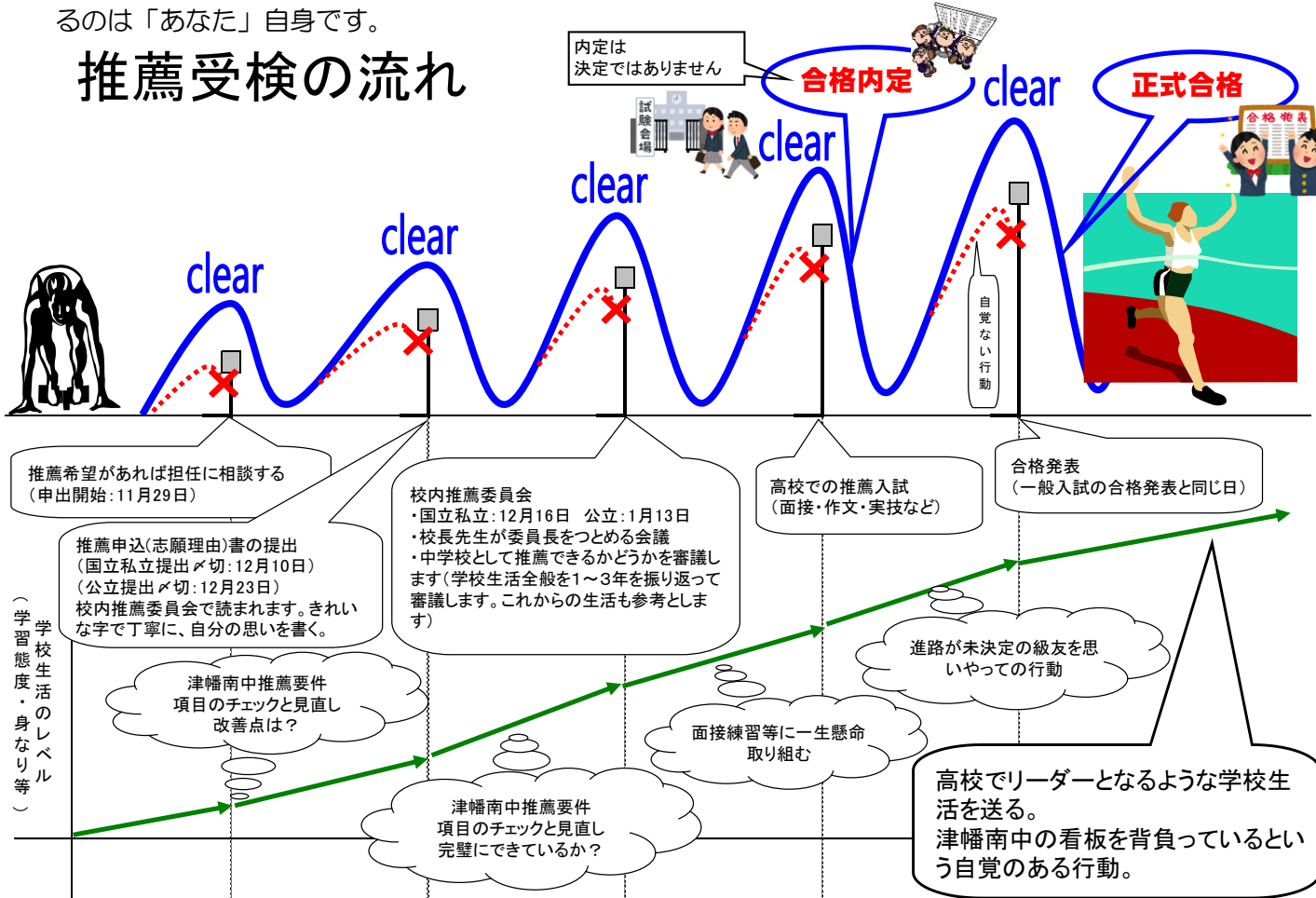
最近、自分で持ってきた問題集やプリントを休み時間などにやっている姿を見かけます。わずかな時間ですが、これから先は、このように短い時間を少しずつ積み上げていく学習が求められます。「家でやるから…」と学校生活の中でいい加減では、最終的にはいい加減なまま終わってしまうおそれがあります。10分でもいいから、時間があれば問題集を開くように心がけてみましょう。ちょっとした積み重ねが、2~3ヶ月後、大きな自信となって自分を支えてくれるでしょう。とにかく、「やる」仲間を増やしていきましょう。自分だけでもやろうという勇気を持ちましょう。でないと、何も変わりません。また、学べ Room 南もおおいに利用しましょう。たった1時間30分程度ですが、集中して学習すれば、2~3時間以上の家庭学習の効果と同等になるかもしれません。全ては、自分の気持ち次第です。

推薦の話し合いは、担任の先生と！



私立高校と金大附属、石川高専、さらに公立高校の推薦受験希望の申し出期間が11月29日(月)から始まります。今後、校内推薦委員会での審議を終えて、正式決定となります。万が一、漏れてしまった場合は、改めて担任の先生との話し合いを持ち、一般入試へと進めていくこととなります。〈自分の希望〉と〈自分の実力〉をしっかりと見つめ直し、最善の選択へと話し合いを進めていくことです。分からないことは、どしどし担任の先生に聞くと良いでしょう。しかし、生活面でも学習面でも努力をするのは「あなた」自身です。

推薦受検の流れ



受験に美術の実技(デッサン)がある皆さんへ

高校入試の中には、国語・社会・数学・理科・英語の試験以外に様々な試験があります。面接や作文もその1つです。また、高専の推薦受験には適性検査(数学の基本的な試験)も実施されます。各高校の受験内容によって、様々な準備が必要となります。その中でも、早めに準備が必要なのが、美術の実技試験(デッサン)です。県立工業高等学校のデザイン科と工芸科、金沢辰巳丘高等学校の芸術コース美術専攻などが実技試験を実施する予定です。第2回進路説明会後に、今後の活動を連絡する予定です。

自分でつくろう！安定剤



不安に押しつぶされそうな時もあるかもしれませんが、そんな時こそ、「自分で精一杯の準備をしてきた！」と言い切れるほどの努力をしたかが、自信を持って立ち向かえることにつながるのではないのでしょうか？！ 自分自身の頑張りが見えわかるように工夫しておきませんか。受験前日には、「自分なりによく頑張ったもんだ。明日はその頑張った成果を出し切ってください！」と自身を励まし、そして、平常心を取り戻すアイテムになると確信しています。たとえば、答え合わせに使っている「赤ペン」をインクがなくなったらそれをためていくとか、シャーペン芯のケースをためていく、自作のまとめノート(前日には、自分の弱点が見えわかるのでとっても使い勝手があります)をためていくとかです。